

# 産地パワーアップ事業の取組事例

(群馬県)

## 取組の概要

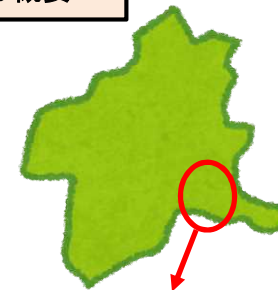
取組の概要 : 生産拡大に向けた体制整備  
計画策定主体 : 太田市地域農業再生協議会  
対象品目 : 真空予冷品目 (ほうれん草他)  
(産地面積 : 143.69ha)  
主な取組主体 : 太田市農業協同組合、生産者27名  
成果目標 : 販売額の10%以上増加  
助成金の活用 : 整備事業 (集出荷貯蔵施設)  
生産支援事業 (パイプハウス)

## ポイント

野菜センターでの真空予冷品目受け入れ体制と、生産現場での生産増加体制を同時に強化することで、確実に販売額を増加させる。

- 受入体制  
真空予冷库 (処理能力向上)  
保冷库 (増加新設)
- 生産体制  
パイプハウス (増加新設)

## 地区の概要



群馬県 太田市 旧藪塚地区  
JA太田市 藪塚野菜センター

## 産地の現状と目標

〈現状 : 平成27年〉  
販売額 : 2,428,429,576円

〈目標 : 平成32年〉  
販売額 : 2,854,634,507円 (17.6%UP)



## 推進体制

JA太田市と生産者が主体となって事業を推進し、太田市、県農業事務所がサポートする。

## 地域における独自の取組

〈主な取組〉

- 販売促進フェアの実施。  
名称 : 「JA太田市農産物フェア」  
場所 : 首都圏の市場  
頻度 : 年に3~4回  
連携 : 部会、JA、行政、全農、他

〈県・市町村単独事業〉

- 県単補助事業により播種機や遮光資材などの導入を支援。

## 事業効果

真空予冷库の処理能力向上により、パイプハウスの導入等で増加した出荷量にも対応可能となり、販売額が増加した。

- 真空処理能力の33%向上。  
(前 : 3パレット2チャンバー 後 : 4パレット2チャンバー)
- パイプハウス264棟、60,368㎡が整備され、産地基盤が強化された。

~ 集出荷貯蔵施設の販売額 ~

